

平成30年度 能代市立朴瀬小学校『いじめ防止基本方針』

1 基本姿勢

生徒指導の三機能を重視した積極的な生徒指導の推進によるいじめ防止

2 三機能による具体的な取組

項目	◇ 内容 ○教師の共通実践	年間活動（計画）
(1) 自己存在感	◇学級や全校での活動，家庭や地域との関わりの中で自己存在感をもって活動できる。 ○朝，児童を出迎え，表情を観察し適切な声かけをする。 ○授業中発言のない児童には意図的に発言の場をつくる。 ○欠席者への配慮をする。 (1日目電話・2日目家庭訪問)	〔早期発見の基本〕 ①児童のささいな変化に気付くこと ②気付いた情報を確実に共有すること ③（情報に基づき）速やかに対応すること
(2) 自己決定	◇自分の考えやめあてをもち，意欲的に学校生活を送ることができる。 ○朝の会で目標を決め，帰りの会で振り返る。 ○行動の善悪を考え・判断させる。 ○係活動や清掃の内容を考えさせる。 ○事前指導を徹底し，集会時の教師の関わりを少なくする。	〔毎日の取組〕 ①朝の児童の表情の観察 ②個人ノート，生活ノート，日記等からの情報収集 ③コミュニケーションの活性化 ④保護者との連絡・連携の強化 ⑤アンケート，定期的な児童の個人面談
(3) 共感的人間関係	◇集団の一員として自分の役割を自覚し，互いのよさを認めながら協力して活動できる。 ○友達のよいところを認め合う活動を授業や特別活動の中で取り入れる。 ○分かる授業のための教材研究と発問研究をする。 ○教師の考えを児童に話す。（夢や理想を語る） ○あいさつを丁寧にする。 ○子どもの良さを必ず褒める。他の職員に紹介し，全職員で褒め，認める	〔年間の取組〕 ①児童を語る会（毎週1回） ②児童アンケートと教育相談週間（6月，11月，2月） ③Q-Uテスト実施（5月，12月） ④PTA個人面談（7月） ⑤不登校・いじめ防止研修会（定例職員会議）

3 早期対応・組織的対応の進め方

